

第8回山中湖スーパーマラソン コースミスによるペナルティの件

今大会において、コース図と違うルートを通った選手がいた、との申告があり、関係者にヒアリングしたところ、第2マークの左側を通った選手がいたことが判明しました。そこで11時～11時40分の間、選手全員にコースミスをした選手に自己申告する時間を設けさせていただきました。結果、以下の4選手から申告をいただきました。

- 21 山口 純也選手
- 28 樋谷 昂輝選手
- 42 大森 正也選手
- 49 岡崎 一輝選手

以下のような理由をポイントとし、実行委員会で協議した結果、上記の4選手には「1分間のペナルティ加算」との結論になりました(リザルトは1分加算のタイムで作っています)

- 1、コース図では第2マークの右側を通過となっているが、先導船がマークの左側を通っていた。
- 2、選手MTG等でコース図が最優先で先導船は目安であることを明確にできていなかった。
- 3、選手とのコースの読み合わせが不十分であった。
- 4、「スポーツマンシップに則り・・・」のルール冒頭を守り自己申告をしていただけた。

運営サイドの落ち度もあったため、来年度はそのようなことが起きないように対策し、ミスが起きにくい運営を心掛けてまいります。同時に今回、フリーだったドラフティングルール等も、再度、見直していきたいと考えております。そして、スポーツマンシップに則り、自己申告くださった4選手には、改めて敬意を表させていただきます。ありがとうございました。

第8回山中湖スーパーマラソン実行委員会